

みんなでなくそう！児童虐待！！

児童虐待とは、特別な家庭に起きるものではありません。
 親がどんなに頑張っている、愛情があっても、児童虐待は起こるのです。
 大人も自分の苦しさに気づかず、無意識のうちに虐待をしていることもあります。
 子どもは親から受ける行為には、自分から『助けて』と言わない場合がほとんどです。
 周りの大人が、子どもの心の叫びに気づき、子どもの声を支援機関につないでください！

【身体的虐待】

蹴る、殴る、タバコの火を押し付ける、熱湯をかける、戸外に閉め出す、異物を飲ませるなど

【性的虐待】

性的行為を強要する、性器や性交を見せる、ポルノ被写体にするなど

児童虐待とは？

【ネグレクト】

適切に食事を与えない、衣類を着替えさせないなどひどく不衛生なままにする、家に閉じ込める、車内や室内に放置するなど

【心理的虐待】

言葉によるおどし、無視や拒否的態度、兄弟姉妹間でのいちじるしい差別的扱いなど

『子どもが虐待されているかも・・・？』
 見たら、聞いたら、思ったら、すぐにご連絡ください！！

相談・通報窓口

- 月曜日～金曜日 午前8時30分から午後5時30分
総合福祉課 福祉支援室 電話 68-5534
- 夜間・休日にも担当者に取り次ぎます
宿直 電話 68-3111

水道管の凍結に必ず注意ください

気温がマイナス3℃前後になると、水道管や蛇口が凍って水が出なくなったり、水道管が破損したりすることがあります。もう一度ご家庭の水道管を点検して、凍結による漏水を予防しましょう。

特に注意しなければならないのは・・・

- ・むき出しになっている水道管
- ・風当たりの強いところにある水道管や蛇口
- ・屋外にある水道管や蛇口

凍結を防ぐには・・・

水道管を保温材で保護しましょう。
 保温材については、伯耆町指定給水業者へ相談してください。また、保温材は市販されていますので、ご家庭で取り付けることもできます。
 取り付けるときは、次のことに注意してください。

- ①保温材は厚さ2cm以上のもの。
- ②屋外の水道管には、外面にアルミ箔が貼り付いてあるものを使うか、外面をアルミ箔で巻く。
- ③継ぎ目や蛇口の付け根などは、雨水や水分が染み込まないように防水テープでしっかりと巻く。

凍結して水が出ないときの応急処置は・・・

蛇口にタオルを巻き、その上からぬるま湯をゆっくりかけながら気長に溶かしてください。
 急いで溶かそうと熱湯をかけると、蛇口や水道管が破損する恐れがありますので、注意してください。

水道管が破損したときは・・・

止水栓か敷地内に設置されている水道メーターボックスの中のバルブで水を止めて、

熱湯をかけないで！！



伯耆町指定給水業者へ漏水の調査・修繕を申し込んでください。
 伯耆町指定給水業者がわからないときは、地域整備課までお問合せください。
 いざというとき慌てないように、普段から止水栓やバルブの位置を確認し、止水栓ボックスの上に物を置かないようにしましょう。

【問合せ先】地域整備課 ☎ 68 - 5540